

# 「生物多様性保全と地域再生 ～環境と経済が共鳴するまち～」

平成25年度  
第1回



兵庫県豊岡市



## ◆ 趣旨

現在、我々は地球温暖化をはじめ様々な環境問題を抱えており、持続可能な社会の構築が地球規模で求められています。そのため、地域社会においても環境問題を重要な課題として認識し、社会情勢の変化に対応しながら環境保全に向けた施策を積極的に推進することが必要です。

豊岡市では、多様な地域資源を活かして様々な分野を連携させながらまちづくりを進めることとし、コウノトリの野生復帰に向けた取組をはじめ、人と自然が共生できる地域づくりを行政と住民が一体となって取り組んでいます。その中で、環境と経済を共に発展させることを目指す「豊岡市環境経済戦略」を定めるとともに、現在は「生物多様性地域戦略」の策定に向けて検討が進められています。

## ◆ 兵庫県豊岡市の概要

豊岡市(人口87,249人:平成25年3月1日現在)は、兵庫県の北東部に位置する地方都市です。神鍋高原、円山川、竹野海岸といった山から海まで連続する自然環境を有し、情緒あふれる城崎温泉街や小京都・出石城下町など豊かな伝統文化にも恵まれています。



日本で一度は絶滅した大型の鳥「コウノトリ」の野生復帰プロジェクトが官民あがて進められており、半世紀に及ぶ取組を経て、今では約60羽が人里で生息するまでに至っています。その生物学的な価値はもちろん、「コウノトリも住めるまち」を標榜する地域づくり(環境創造型農業の拡大、環境と経済の共鳴など)が国内外の高い注目を集めています。

「小さな世界都市を目指す」が豊岡市の合言葉。コウノトリの生息を支える「円山川下流域・周辺水田」の湿地環境は、2012年7月にラムサール条約の登録湿地にも認定されました。

## 主任講師

1969年生まれ。1999年から兵庫県立コウノトリの郷公園研究員(兵庫県立大学自然・環境科学研究所講師)に赴任し、コウノトリの野生復帰プロジェクトに参画。地域に居住するレジデント型研究者として、環境社会学をベースにしたコウノトリの野生復帰に向けた研究と活動に従事。2008年から、多様な人々がコウノトリのことを語り合う「鶴見カフェ」を開催し、市民、行政、研究者などをつなぐコーディネーターとして活動。2013年2月より現職。コウノトリの野生復帰の経験をもとに、地域環境の再生に向けた領域融合的な研究に取り組んでいる。豊岡市環境審議会会長、環境社会学会理事。

総合地球環境学研究所 准教授 菊地 直樹 氏



## ◆ 研修会場

豊岡市民プラザ 活動室C・D

〒668-0031 兵庫県豊岡市大手町4-5 アイティ7階

アクセス ★JR豊岡駅から徒歩で1分

## ◆ 日程

### 6月26日(水)

- 13:30 開講式・オリエンテーション
- 13:45 **Lecture 1**  
総論・問題提起  
主任講師/菊地 直樹 氏
- 14:20 **Lecture 2**  
豊岡の挑戦  
特別講師/豊岡市長 中貝 宗治 氏
- 15:15 **Lecture 3**  
「豊岡の“環境創造型”農業」  
特別講師/農家・兵庫県農業経営士 成田 市雄 氏
- 16:25 **Lecture 4**  
「環境と経済の共鳴」  
特別講師/豊岡市環境経済課 若森 洋崇 氏
- 17:20 **Lecture 5**  
「環境経済事業の課題と可能性」  
特別講師/但馬信用金庫業務部次長 宮垣 健生 氏

### 6月27日(木)

- 9:10 **Field Work 1**  
六方田んぼ
- 9:50 **Field Work 2**  
コウノトリの郷公園
- 11:00 **Field Work 3**  
祥雲寺田んぼ  
特別講師/コウノトリの郷営農組合長 稲葉 哲郎 氏
- 12:00 昼食 (地域農業管理施設)
- 13:30 **Field Work 4**  
ハチゴロウの戸島湿地  
特別講師/コウノトリ湿地ネット 代表 佐竹 節夫 氏
- 14:45 **Field Work 5**  
田結湿地  
特別講師/田結区の皆さん(案ガールズ他)
- 16:15 **Group Work 1**  
視察結果のとりまとめ ※城崎総合支所  
主任講師/菊地 直樹 氏

### 6月28日(金)

- 9:00 **Group Work 2**  
「発表・講評」  
主任講師/菊地 直樹 氏
- 11:20 **Lecture 6**  
総括  
主任講師/菊地 直樹 氏
- 12:55 閉講式